

全国グループホーム団体連合会 『第2回 全国フォーラム』

大会要綱

1. 目的

平成12年の介護保険制度施行に伴い、認知症対応型共同生活介護としてスタートしたグループホームですが、これまでの制度や報酬の見直し等、節目節目において、自らの在り方を検証する機会を多く経験してきました。しかし、自らの在り方を明確に示し、全うな取り組みが成されているかという疑問は常に追究の課題でもあります。

「認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）」、2025年までには「地域包括ケアシステム」による「地域包括ケアのまちづくり」の構築など、超高齢社会に対応すべく様々な施策が講じられていますが、社会全体で支えるケアシステムが有効に機能するため、グループホームの果たす役割と責任は如何に在るべきかが問われているものと思います。

当フォーラムでは、全国のグループホームに関わる人たちと、グループホームの在るべき姿を問い続け、未来の在り方を考える機会にしたいと企画致しました。

2. 日時 平成26年10月1日（水）
13時00分から17時30分まで

3. 会場 東京 五反田スタンダード会議室
所在地：東京都品川区西五反田2-21-1 五反田Kビル2階・3階・5階
電話 03-5719-4894

4. 参加費 2,000円

5. 内容

<開 会 式> 13:00～13:10
挨拶 世一修 代表

<報 告> 13:10～14:40

「被災地からの未来へのメッセージ」

座 長 井上 謙一 氏 群馬県地域密着型サービス連絡協議会 会長
メッセンジャー 今野 秀吉 氏 特定非営利活動法人 豊心会 理事長（福島県）
メッセンジャー 内海 裕 氏 社会福祉法人功寿会 理事兼統括施設長（宮城県）

「地域密着としての未来へのメッセージ」

座 長 蓬田 隆子 氏 宮城県認知症グループホーム協議会 会長
メッセンジャー 恩田 初男 氏 群馬県地域密着型サービス連絡協議会 副会長
メッセンジャー 中城 智仁 氏 いこいの里さくら貝 副施設長（高知県）

～ 休 憩 ～

<基調講演>

14:50～15:50

「介護保険法の目的を達成するために、グループホームに期待すること」(仮題)

講 師 厚生労働省老健局高齢者支援課
認知症・虐待防止対策推進室長 水 谷 忠 由 氏

～ 休 憩 ～

<シンポジウム>

16:00～17:30

テーマ 「地域包括ケア、力を尽くせ！グループホーム」

コーディネーター

○ 町永 俊雄 氏 (テレビキャスター／元NHKエグゼクティブアナウンサー)

コメンテーター

○ 水谷 忠由 氏

(厚生労働省老健局高齢者支援課 認知症・虐待防止対策推進室長)

シンポジスト

○ 高橋 紘士 氏

(国際医療福祉大学大学院 医療福祉学分野教授)

○ 大谷 るみ子 氏

(福岡県高齢者グループホーム協議会 理事長)

社会福祉法人東翔会グループホームふぁみりえホーム長)

○ 和田 行男 氏

(東京都地域密着型事業者協議会 会長)

(株)大起エンゼルヘルプ 地域密着型・地域包括事業部部長)

<閉 会 式>

17:30～

挨拶 林田 俊弘 副代表

全国グループホーム団体連合会 事務局 (つげの実務所内)

(担当) 事務局長 林田俊弘

〒170-0003 東京都豊島区駒込3-30-3 3F

電話&FAX 03-5974-2562

E-MAIL contact@gh-japan.net URL <http://gh-japan.net>